

設立趣意書

21世紀の今日、科学技術の進歩により、私たちの身のまわりの様々な場面においてグローバル化は急速に進んでいます。また、地域社会においても外国人住民者数は増加の一途をたどり、本市に在住する外国人は2,600人を超え、その国籍は32の国と地域に及びます。このように私たちの生活は世界と密接につながっており、地域の国際化のための取り組みは「誰もがいきいきと暮らせるまち」をつくるための重要な要素となっています。

2019年3月、八代市では国際化に向けた都市づくりを強力に後押しするため、「やつしろ国際化推進ビジョン」を策定しました。ビジョンでは、“世界の笑顔が花咲く国際都市やつしろ”を目指すべき都市像に掲げ、「世界に向けた観光・経済戦略の展開」、「国際交流の拡充」、「多文化共生社会の推進」、「国際感覚豊かな人づくりの推進」の4つの基本方針のもと、今後取り組むべき施策の方向性を示し推進していくこととしています。

“国際都市やつしろ”の実現は、行政だけで成し得るものでもなく、主役となる市民一人ひとりの気づきや行動が大きな一歩となります。そのためにも、生活の中にある身近な「国際化」に目を向けるきっかけづくりが大変重要なものとなります。

また、地域においては、市民をはじめ企業、民間団体、教育機関、行政、その他関係機関が持つ、それぞれの専門性や強みを活かし、横断的に取り組むことで相乗効果を発揮する体制づくりが求められます。

そのような中で、これらを具現化するための組織づくりが必要だとの声の高まりをうけ、ここに「やつしろ国際協会」を設立する運びとなりました。「やつしろ国際協会」は、市民や関係機関等をつなぐコーディネーターの役割を担い、地域が一体となった取り組みによって、国籍に捉われない市民同士の相互交流を活発化させると共に、市民の国際理解を深めることで、地域の国際化の推進、多文化共生社会の実現に寄与することを目指します。

2021年7月18日